



令和5年
1月25日
村松町
祭礼保存会

御頭神事祭礼 三年ぶりに

例年規模で二月十一日(土)斎行

宇氣比神社境内舞始め 午後一時三十分

積木火入れ 山の神で 午後八時

3年ぶりに伝統に沿ったお頭神事の斎行を予定

今年、穏やかな元旦で、新しい年を迎えましたが、正月気分も束の間、1月も急ぎ足で過ぎており、2月も目前となってきました。村松町では、伝統の御頭神事の日が、迫ってきました。

村松町の御頭神事は、3年前、新型コロナウイルス感染症が日本で発生してまだ大問題となる直前に、例年の規模で斎行しましたが、その後、コロナの市中感染が憂慮すべき事態となり、以来、感染拡大阻止緊急宣言、学校の臨時休校、等コロナ禍での祭礼行事等は、自粛、規模の縮小を余儀なくされてきました。

しかし、コロナ禍の4年目を迎える今年は、多くの地域で、祭礼復活の動きが見られるようになってきており、また、今では、屋外でのマスクの着用も原則不要になる等、次第にコロナ感染に対する様々な行動制限が緩和されてきています。

このため今年は、次項のことも考慮して、例年に近い形・規模で、御頭神事を斎行する予定にしています。

祭りは、郷土の心を一つにして、絆を深め、地域の活力を躍進する大切な行事であること

先人の方々が五百年以上も継承してくれた御頭神事を、途絶えさせることなく次世代に引き継いでいく必要があること。

「辻舞いも、積木も行います」ご期待下さい！

御頭舞は、八岐大蛇が、須佐之男命に退治される様を表したもので、七起の舞と言われる最古の神楽であり、伊勢神宮の神楽役人から発祥したと言われている。

町内の由緒ある場所での辻舞の奉納は、悪疫退散と年内の豊穰を祈願すると言われております。

下記の解説を読んでもいただければ、一段と興味ある観覧ができると思います。

神事祭礼行事の日程		
日	予定時刻	行事
10日	午後 8時 00分	入笛式
11日	午前 6時 00分	潔斎・ / (日出:6:44)
	午前 7時 00分	海中斎戒沐浴
	午前 8時 00分	春祭(祈年祭)
	午前 10時 00分	御頭さん飾り付け
	午前 11時 00分	春の年酒(ねんし)
	午後 12時 30分	年酒の式(拝殿)
	午後 12時 45分	ホラ貝・町会へ役人集合
	午後 1時 30分	舞い始め(神社境内)
	午後 2時 30分	刀抜き
	午後 3時 00分	辻舞い始め
	午後 8時 00分	ツムギ火入れ(警護長)
午後 9時 30分	山の神 舞い	
午後 11時 00分	終了予定	

辻舞の場所・予定時刻	
場所	予定時刻
平和の礎	午後 3時 00分
半三の辻	午後 3時 35分
宗末の辻	午後 4時 10分
弥六の辻	午後 4時 45分
甚平の辻	午後 5時 20分
中入り	午後 6~7時 (日入り PM 17:33)
庄六の辻	午後 7時 00分
甚十の辻	午後 7時 35分
藤次の辻	午後 8時 10分
龍宮境内	午後 8時 45分
山の神	午後 9時 30分

御頭舞の構成

〔中守〕序曲、「八岐大蛇」が、屋なお暗い山の祠に眠っておりました。ふと目をさまし、貢ぎ物、獲物を求めて、のどかな里の方へ降りてくる場面。

〔初段〕貢ぎ物はないか、獲物はないか、と欄々と光る眼で、獲物を探している姿。

〔二段〕里に降りてきた大蛇が、貢ぎ物(ドロブク)を見つけて喜び勇んでいる様子。

〔三段〕大蛇が、貢ぎ物(ドロブク)を一気に飲み干して、口に廻付いた砂をふるい落とし落としている姿。

〔四段〕大好物の(ドロブク)をしたたか飲み干して、あけくの果てに酔っ払い、浮かれ踊り出す様子。

〔五段〕大蛇が、踊りつかれ、酔いつぶれて、此処に寝ようか、あそこへ寝ようかとウロウロして、しまいに、良い寝場所を見つけて寝込んでしまう。舞の後半では、須佐之男命(すさのおのみこと)に見つけられて、ビックリ仰天逃げまどい成敗される。

〔六段〕成敗された大蛇が、苦しみまわり昇天するまでの様子。(切り裂かれた尾から、草薙の剣が出てきたと言われている。)一年に一回だけ宇氣比神社での大神宮への奉納舞でのみ舞われる。

〔スラエ〕須佐之男命(すさのおのみこと)に退治された大蛇の生が、天に昇っていく姿。今まで真っ黒な空が、一転にわかち切れて「一条の群雲が、スルスルと降りてきて、大蛇の生が、雲に迎えられ、空のかなたへ登っていく様子。見物人こそぞって「ヤンヤーアレヨ、アレヨ……」と声をかける。

〔御礼〕終章、七起し舞の後に、直衆・観客に対しお礼の意味で舞う。

※ 3年前の村松町の御頭神事は、ZTV及び三重テレビで放映されましたが、ビデオ画像を通してこの祭礼を見てみると、これまで貴重な文化遺産を残してくれた村松里人の堅忍不拔であったことに心を打たれます。

文責 祭礼保存会 T・中村
監修 宇氣比神社宮司 中川